

2026 年度 通信教育実施計画

京都芸術大学附属高等学校
じぶんみらい科

1. 基本情報								
現代の国語		普通	必修	単位数	2	前提科目	-	
担当教員	佐々野	レポート回数	6	スクーリング時数	1	最低視聴時間	2.0	
教材			新編現代の国語		副教材			新編現代の国語 学習課題ノート
材料費・実習費用等について					なし			
2. 科目の概要								
①科目のねらい								
・自分の考えや感情を持って作品に向き合うことができる。								
・筆者の意見や筆者の体験に対して自分の意見を持つことができる。								
②学習の進め方								
高校の国語の授業ってどんなイメージでしょうか。2022年に新しく始まった科目であるこの「現代の国語」は、これまでのようなただ現代の文章を読むのではなく、1年間を通して自己を見つめたり、他者を知ったり、視野を広げたり ...そんなふうに少しずつ世界に目を向けていくような作品が選ばれています。本校が目指す『他者を思いやる「想像力」と新たな価値を生み出す「創造力」で社会に役立つ人間の育成』のスタート地点として、とても大切な科目だと思っています。あなたがあなたらしく、作品を見つめることができますように。言葉や文章に苦手意識のある人も安心してくださいね。楽しく学び合える授業を心がけます。								
③メディア学習の活用指針								
ライブ授業では、同じテーマについてみんなで話して、本文の内容を深めます。また、レポート対策の時間をライブ授業の中で確保しますので、レポートが不安な人も安心してくださいね。 前期・後期に1本ずつあるビデオでは、半期ごとのテーマに沿って、「表現すること」を根本的に考えていく内容です。								
3. 評価の観点								
		評価の観点			評価の方法			
知識・技能		漢字の読み・書きの力、言葉の意味の理解、単純な読解問題を身につけられているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現		情報の整理が必要なレベルの読解や、読解を伴い文章表現ができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度		まずは、目の前の課題に向き合う学びに対する誠実な姿勢があるか。 そのうえで、自ら必要な学びを判断し、それを獲得するために努力することができるか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件								
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。						
集中スクーリング		すべての時数(上記)参加すること						
レポート		すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)						
単位認定試験		受験し、合格すること(合格点は30点以上)						

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	「こそそめスープ」
レポート	「こそそめスープ」

第2クール

じぶみらライブ授業	「水の東西」
レポート	「水の東西」

第3クール

じぶみらライブ授業	「鍋洗いの日々」
レポート	「鍋洗いの日々」

第4クール

じぶみらライブ授業	「美しさの発見」
レポート	「美しさの発見」

第5クール

じぶみらライブ授業	「『真の自立』とは」
レポート	「『真の自立』とは」

第6クール

じぶみらライブ授業	「ルリボシカミキリの青」
レポート	「ルリボシカミキリの青」

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	
スクーリング	なし

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報					
歴史総合		普通	必修	単位数	2
担当教員 川勝		レポート回数	6	スクーリング時数	1
教材			歴史総合 ワークノート		
材料費・実習費用等について			なし		
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
「歴史総合」は、18世紀以降の日本と世界の歴史を「近代化」「国際秩序の変化」「グローバル化」という 3つの大きな扉を通して学び、現代社会が抱える課題の成り立ちを理解する科目です。 単なる年号や用語の暗記ではなく、「なぜそうなったのか?」「その時、人々はどうか考えたのか?」という問いを大切にします。資料や映像を多角的に読み解きながら、現代の私たちが直面する課題(自由、平等、平和、環境など)の解決に向けて、歴史的な視点から自分なりの考えを形成し、未来を構想する力を養うことを目指します。					
②学習の進め方					
教科書や学習動画を活用し、以下のプロセスを繰り返しながら学習を深めます。 【問いの発見】:「歴史の扉」等のテーマを通じて、日常の疑問や現代の課題と歴史を結びつけ、「問い」を立てます。 【資料の読解】:写真、グラフ、地図、文章などの資料から必要な情報を読み取り、事象の背景や原因、結果を整理します。 【考察と表現】:得られた情報をもとに多面的・多角的に考察し、自分の考えをレポートや成果物に論理的にまとめます。 特に、日本だけでなく世界の動きと関連付けて歴史を捉える広い視野(グローバルな視点)を意識して学習を進めてください。					
③メディア学習の活用指針					
日々の学習は、レポートのポイントや近現代の歴史の流れを整理できる「じぶみらライブ授業」をペースメーカーに進めましょう(見逃した場合もアーカイブで視聴可能です)。 さらに理解を助けるツールとして、当時の情景や資料を映像で捉えられる「 NHK高校講座」や「教科書インターネット講座」も用意しています。 「じぶみら授業(冒険的な学び)」では、教科書の枠を超えて現代社会の課題と歴史を結びつける探究も行います。これらを自由に組み合わせ、自分に合ったスタイルで歴史的な視野を広げてください。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	近現代の歴史的な変化に関わる用語や概念、事象の背景を正確に理解できているかを評価します。また、教科書や資料集、統計データなどの多様な資料から必要な情報を適切に収集・読み取り、課題解決に活用する技能が身についているかを、レポートや試験を通して確認します。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	歴史的な事象を「原因と結果」「類似と差異」などの視点で多面的・多角的に考察できているかを評価します。事実や根拠に基づいて自分の考えを論理的に構成し、読み手にわかりやすく表現する力が身についているかを見ます。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	レポートの記述や学習活動への取り組みから、歴史に関わる諸事象を現在の社会課題や自らの生活と結びつけて主体的に追究しようとしているかを見ます。多様な価値観や歴史的背景を尊重し、よりよい社会の実現に向けて自らの考えを深めようとする姿勢を評価します。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	第1章2節アジアの繁栄と西洋近代の形成
レポート	第1章近代化と私たち(1)

第2クール

じぶみらライブ授業	第1章3節世界の一体化と多様な近代化
レポート	第1章近代化と私たち(2)

第3クール

じぶみらライブ授業	第2章2節第一次世界大戦と大衆社会
レポート	第2章国際秩序の変化や大衆化と私たち(1)

第4クール

じぶみらライブ授業	第2章3節経済危機と第二次世界大戦
レポート	第2章国際秩序の変化や大衆化と私たち(2)

第5クール

じぶみらライブ授業	第3章2節冷戦と世界経済
レポート	第3章グローバル化と私たち(1)

第6クール

じぶみらライブ授業	第3章3節世界秩序の変容と日本
レポート	第3章グローバル化と私たち(2)

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	国際秩序の変化や大衆化への問い
スクーリング	なし

後期

じぶみらビデオ	グローバル化への問い
スクーリング	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題

1. 基本情報							
公共		普通	必修	単位数	2	前提科目	-
担当教員	久保寺	レポート回数	6	スクーリング時数	1	最低視聴時間	2.0
教材			公共		副教材		
材料費・実習費用等について					なし		
2. 科目の概要							
①科目のねらい							
「公共」は、誰もが希望を持ち安心して暮らせる社会を目指し、そのために私たちに何ができるかを考える科目です。単なる用語の暗記ではなく、「人間や社会はどうあるべきか」という視点で現代の諸課題を考えます。 正解のない問いに対し、自分なりに考え、解決策を話し合う活動を通して広い視野を養うことが目的です。目指すのは、グローバル化する世界で主体的に生き抜く力と、平和で民主的な社会を支える確かな判断力・行動力の育成です。 自立した大人として社会に参加し、共により良い未来を創るための第一歩を、ここから踏み出しましょう。							
②学習の進め方							
この授業では、以下の3つのステップを循環させながら学習を深めていきます。 ①情報の収集と概念の活用 現代社会の課題を理解するための「概念」や「理論」を学びます。また、インターネットや書籍などの資料から、責任ある個人として判断するために必要な情報を適切に調べ、分かりやすくまとめる技能を身につけます。 ②自身の意見と他者の意見を参考に、事実に基づき、物事を多面的・多角的な視点から考察します。クラスメートなど他者の発言を通して、異なる意見を自らの中で調整し、自分なりの解決策を見いだします。 ③社会に参画する自覚 よりよい社会の実現に向け、主体的に課題解決に取り組む態度を大切にします。国民主権を担う一員として、自国の平和と繁栄を願うとともに、他国の主権も尊重し、国際社会で協力し合うことの重要性を深く理解し、自らの生き方を確立していきます。							
③メディア学習の活用指針							
「公共」のメディア学習は、基本的に「ライブ授業」への参加が中心となります。以下の 3つのポイントを確認して、学習を進めていきましょう。 1. ライブ授業への参加（基本スタイル） 授業は決まった時間に行われます。社会の一員として、また高校生としての「時間を守る」という生活習慣を身につけるためにも、できるだけリアルタイムで参加しましょう。 ※参加できない場合は、アーカイブ（録画）で視聴することもできます。 2. メディア視聴について（重要！）「公共」の授業に関しては、スクーリング減免のために「最低 2.0時間」のメディア視聴が必要です。計画的に視聴時間を確保し、学習を進めてください。 3. 動画教材の活用「NHK高校講座」や「教科書インターネット講座」、「オリジナル授業動画」、「ライブ授業アーカイブ」などの動画教							
3. 評価の観点							
		評価の観点			評価の方法		
知識・技能		情報の収集と概念の活用定期考査では、現代社会の仕組みや課題に関する基本的な用語・理論の理解度を問います。また、レポート課題を通して、信頼できる情報源から目的に応じたデータを収集できているか、そして集めた情報を問いに対して論理的に整理し、必要な解答ができる技能が身についているかを評価します。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。		
思考・判断・表現		課題を通じた自己意見の形成、発言や記録から、他者の意見を尊重しつつ自己意見との合意形成を図るプロセスを評価します。また、論述課題では、事実や根拠に基づいて多面的・多角的に事象を考察し、公正な視点から自らの考えを論理的に構成して表現できているか、読み手に分かりやすくまとめる技能が身についているかを評価します。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。		
主体的に学習に取り組む態度		社会に参画する自覚授業への取り組み姿勢や振り返りシートの記述から、社会の課題を「自分事」として捉え、解決に向けて主体的に関わろうとしているかを見ます。レポートの解答などを通して自国や国際社会への関心の深まりや、多様な価値観を尊重し、自らの在り方・生き方をより良く変容させようとする姿勢を評価します。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。		
4. 単位認定要件							
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。					
集中スクーリング		すべての時数（上記）参加すること					
レポート		すべて提出し、すべて合格すること（合格点は40点以上）					
単位認定試験		受験し、合格すること（合格点は30点以上）					

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	青年期を生きる君たちへ ～「自分」という謎を解く旅～
レポート	「青年期と自己形成の課題」「自己形成と社会への参画」教科書の基礎知識と応用、展開 レポートに関しては、授業の内容と教科書に準じる

第2クール

じぶみらライブ授業	「みんなで決める」の落とし穴 ～民主主義と憲法の関係～
レポート	「近代政治の原理と民主主義」「民主主義とは」「立憲主義とは」「人権保障の意義と展開」教科書の基礎知識と応用、展開 レポートに関しては、授業の内容と教科書に準じる

第3クール

じぶみらライブ授業	君と国家との契約書「憲法」 ～君を守る3大原理～
レポート	「日本国憲法の基本原理①、②」教科書の基礎知識と応用、展開 レポートに関しては、授業の内容と教科書に準じる

第4クール

じぶみらライブ授業	君の「欲しい!」という気持ち、値段を決める ～大人気アイドルのグッズはなぜ高騰する? 需要と供給の心理戦～
レポート	「私たちと経済」「市場経済のしくみ」「資本主義の歴史と経済思想」教科書の基礎知識と応用、展開 レポートに関しては、授業の内容と教科書に準じる

第5クール

じぶみらライブ授業	平和は「願う」ものか? 「作る」ものか? ～「待ち」の平和と「動く」平和～
レポート	「国際社会と平和主義」の基礎知識と応用、展開 レポートに関しては、授業の内容と教科書に準じる

第6クール

じぶみらライブ授業	君たちはどう生きるのか? ～正解のない社会で生きる先人の知恵～
レポート	「人間としての在り方生き方の探究」の基礎知識と応用、展開 レポートに関しては、授業の内容と教科書に準じる

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	トルール・スレン虐殺博物館(カンボジア・プノンペン)の画像・映像を中心に「人権」を考える
スクーリング	1年生のスクーリングは前期に1回です。 ・時事概論

後期

じぶみらビデオ	日本経済とグローバル経済における地政学的リスクを海峡から考える
スクーリング	2年生のスクーリングは後期に1回です。 ・時事概論

1. 基本情報								
数学Ⅰ		普通	必修	単位数	3	前提科目	-	
担当教員	長谷川	レポート回数	9	スクーリング時数	2	最低視聴時間	2.0	
教材			新数学Ⅰ		副教材			ニューファースト新数学Ⅰ
材料費・実習費用等について					なし			

2. 科目の概要
①科目のねらい (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析の基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈・表現・処理する技能などを身に付ける。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見て適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係を表、式、グラフで関連付けて考察する力、データの分析を通じて問題を解決し、その過程や結果を批判的に考察する力などを養う。 (3) 数学のよさを認識し活用しようとする態度を身につける。
②学習の進め方 教科書や学習書を読み、まずは「例題」を通して公式や解法の基礎を理解することから始めます。次に、問や演習問題に取り組み、理解度を確認しながら「レポート」を作成・提出してください。返却されたレポートの添削箇所は必ず見直し、間違いを修正することで確かな学力が定着します。分からない箇所はメディア学習（放送授業等）を活用して解決し、計画的に学習を進めて単位認定試験に備えましょう。
③メディア学習の活用指針 学習の土台となるのは「じぶみらライブ授業」です。レポートを解くのに役立つポイントを中心に扱うため、積極的に参加して疑問を解消しましょう（後ほどアーカイブを視聴することもできます）。一方、「じぶみら授業」は各学期に1回の特別な「冒険的な学び」として配信します。また、映像と動きで数式を可視化し直感的に理解できる「NHK高校講座」や、読み上げ機能のある「教科書インターネット講座」を併用し、自分に合った方法で理解を深めましょう。

3. 評価の観点		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付けている。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
思考・判断・表現	数や式、図形、関数、データの分析などの事象を論理的に考察し表現する力や、問題を解決する過程や結果を批判的に考察する力を身に付けている。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、自己の学習を振り返って向上させようとしている。	レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。

4. 単位認定要件	
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
集中スクーリング	すべての時数（上記）参加すること
レポート	すべて提出し、すべて合格すること（合格点は40点以上）
単位認定試験	受験し、合格すること（合格点は30点以上）

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	① かけ算の筆算から乗法公式を考えよう。
レポート	① 第1章 1節 文字と式

第2クール

じぶみらライブ授業	② $0.999999... = 1$ になる？
レポート	② 第1章 2節 実数 ③ 第1章 3節 方程式と不等式

第3クール

じぶみらライブ授業	③ 2次関数のグラフをいろいろかいてみよう。
レポート	④ 第2章 1節 2次関数とそのグラフ ⑤ 第2章 2節 2次関数の値の変化

第4クール

じぶみらライブ授業	⑥ 三角比を利用して、いろいろな長さを調べよう
レポート	⑥ 第3章 1節 三角比の性質 ⑦ 第3章 2節 三角比の応用

第5クール

じぶみらライブ授業	⑤ そのデータ分析、本当に正しい？
レポート	⑧ 第4章 1節 データの分析

第6クール

じぶみらライブ授業	⑥ 正しくないことを証明しよう。
レポート	⑨ 第5章 1節 集合と論証

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	鴨川の飛び石、間隔は等しい？～関数とグラフの基礎～
スクーリング	一筆書きの秘密をみつけよう

後期

じぶみらビデオ	どれくらい高い？～三角比で測ってみよう～
スクーリング	・大階段の高さをはかろう(京都) ・階段の高さをはかろう(東京)

1. 基本情報					
科学と人間生活		普通	必修	単位数	2
担当教員 中谷		レポート回数	6	スクーリング時数	4
教材		科学と人間生活		副教材	ニューサポート 改訂 科学と人間生活
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
この科目では、自然の事物・現象についての観察や実験を行い、科学的に探究する学習を通して、以下の資質・能力を育成することを目指す。 (1)日常生活や社会に見られる現象を、科学的な視点(質的・量的な関係、時間的・空間的な視点など)で捉える力を養う。 (2)自然科学の基本原則が、私たちの生活や科学技術の中でどのように活用されているかを理解する。 (3)自然に対する関心を高め、主体的に問いを立て、解決しようとする態度を育てる。					
②学習の進め方					
まずは、じぶみらライブに参加しましょう。学べき単元の中からいくつかのトピックスについて掘り下げて学習し、教科に対する興味関心を深めましょう。そのうえで教科書や学習書を読み、太字で書かれているような重要語句や原理・法則を理解することから始めます。次にレポートの問題に取り組みましょう。じぶみらビデオでは、レポートの問題に取り組めるように所々に解説が盛り込まれています。さらに、レポートの復習や発展的な内容の理解として、NHK高校講座を視聴したり、副教材の問題集に取り組みましょう。					
③メディア学習の活用指針					
メディア学習の中心となるのは、双方向性のある「じぶみらライブ」の授業です。参加できなかった場合でもアーカイブ配信を視聴することができるので、可能な限り全てのじぶみらライブに参加しましょう。 レポート学習の助けとなるのが、「じぶみらビデオ」です。また、じぶみらビデオでは生徒の興味・関心を引き出すような実生活と地続きな科学の学びを提供します。また、各回趣向を凝らした動画が提供されている「NHK高校講座」や読み上げ機能のある「教科書インターネット講座」を併用し、自分に合った方法で理解を深めましょう。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	自然現象や科学技術に関する基本的な用語、原理・法則を正しく理解しているか。 顕微鏡などの実験器具を安全かつ適切に操作できるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	自然現象に対して問いを見出し、それを解決するための観察・実験の計画を立てられるか。 実験結果(データ)から何が言えるかを論理的に考察し、結論を導き出せるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く学ぼうとしているか。 自らの学習活動を振り返り、学習内容を日常生活や社会と関連付けようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	生物の「ミクロ」な世界
レポート	科学技術の発展・微生物とその利用

第2クール

じぶみらライブ授業	すごいぞ!!人体!! なぜを深掘りしてみよう。～ティンバーゲンの4つのなぜ～
レポート	ヒトの生命現象

第3クール

じぶみらライブ授業	マイ・エレメント ～世界は何でできてるの?～
レポート	物質の科学

第4クール

じぶみらライブ授業	青空からプラスチックまで目で見て感じる偏光する世界
レポート	光や熱の科学

第5クール

じぶみらライブ授業	水を曲げる謎の力を解明せよ
レポート	太陽と地球

第6クール

じぶみらライブ授業	地球。ーこの美しい惑星についてー
レポート	自然景観と自然災害・課題研究

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	「知恵のある人」の科学の歴史、豚の目の解剖、金属のメッキと合金、牛乳からプラスチックを作ろう
スクーリング	顕微鏡を作ろう、「見える」ということ

後期

じぶみらビデオ	偏光のしくみ、熱容量と比熱、太陽と月が作る暦、私たちの大地
スクーリング	暦と太陽、銀河の形や太陽系の位置について

1. 基本情報					
体育Ⅰ		普通	必修	単位数	2
担当教員 松田		レポート回数	2	スクーリング時数	4
教材			新高等保健体育		
副教材			イラストでみる最新スポーツルール2026		
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
(1)適切な運動習慣を身に付けることが、自己の健康作りにとって重要であることを理解できるようになる。 (2)身体を動かす心地よさや楽しさに気付くことができるようになる。 (3)日常生活の中で、室内であっても十分運動量を確保することができることを知る。 (4)心と身体はお互いに影響しあい、変化していることに気付き、自分の体調に応じて適切な運動を選択することができるようになる。					
②学習の進め方					
じぶんみらい科の体育は、「良い記録を出す」ことや「高度な技術を身に付けること」ではなく、『自らの健康の保持増進』のための運動を中心に行います。運動の得意・不得意に関わらず自らの健康の為に自分のペースで運動に親しむ姿勢を持って、授業に参加して下さい。ライブ授業・スクーリングなど『参加すること』、『できる・できない』は関係なくチャレンジする姿勢を持って授業に臨みましょう。授業を受けたらレポートに取り組み、メディア視聴をこまめに行い視聴報告書を提出する習慣を身に付け、余裕を持って学習に取り組むことができるようにしましょう。					
③メディア学習の活用指針					
体育授業の土台になるのは「ライブ授業」です。基本的な生活習慣の確立の為に時間通りに参加することを心がけましょう。(アーカイブで確認することもできます。)スクーリング授業では、仲間とともに運動に親しむ姿勢を身に付けることを目的に実施します。併せて、NHK高校講座、教科書インターネット授業の動画も活用し、自分に合った学習方法を見つけて下さい。体育Ⅰは視聴時間が7.2時間必要となっているので、メディア視聴を積極的行い、視聴報告書の提出を早めに行うように心がけましょう。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	・自己の身体づくりについての基本的な知識を身に付けているか。 ・自分自身の運動習慣を振り返り、課題や改善点を見つけていることができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	・自らの運動習慣をさらに改善するためには何が必要となるのか考えることができるか ・自分が行おうとする運動の効果について適切に表現できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・自分の身体を大切に扱い、健康に留意して生活を送ろうとする積極的な姿勢が身に付いているか。 ・レポート、視聴報告などが期限までに提出でき、かつ内容が充実しているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	単元②「身体づくり運動Ⅰ」運動の種類とそれぞれの運動の効果について
レポート	「身体づくり運動Ⅰ」運動の種類とそれぞれの運動の効果について

第2クール

じぶみらライブ授業	単元③「球技Ⅰ」サッカーの練習方法と基本的技術について
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	単元④「身体づくり運動Ⅲ」自律神経を整える運動の紹介と実践
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	単元⑥「器械運動Ⅰ」自宅で実施できる器械運動の紹介と実践
レポート	「器械運動Ⅰ」自宅で実施できる器械運動の紹介と実践

第5クール

じぶみらライブ授業	単元⑦「陸上競技Ⅰ」外に出て、身体を動かす楽しさを知ろう！
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	単元⑧「体育理論Ⅱ」日本・世界の様々なスポーツを知る 単位認定テストの対策を兼ねています。
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	単元①「身体づくり運動Ⅱ」自宅で実施することができる運動の紹介と実践
スクーリング	身体づくり運動・アイスブレイク運動・ストレッチの実践と効果について ※使用できる施設によって、内容が変更になる場合があります。

後期

じぶみらビデオ	単元⑤「体育理論Ⅰ」スポーツの発祥と文化的変容について」
スクーリング	みんなでスポーツに親しむ障がい者スポーツ「ボッチャ」の実践 ※使用できる施設によって、内容が変更になる場合があります。

1. 基本情報								
保健Ⅰ		普通	必修	単位数	1	前提科目	-	
担当教員		松田	レポート回数	3	スクーリング時数	1	最低視聴時間	0.0
教材			新高等保健体育		副教材			
材料費・実習費用等について					なし			
2. 科目の概要								
①科目のねらい								
(1)現代社会における健康に関する現状と課題を、さまざまな視点から知る。 (2)日本と諸外国との健康に関する取組の違いを知り、今ある「当たり前」を問い直す姿勢を持つ。 (3)自己の生活習慣が自分自身の心と身体を作っていることを再確認し、心身共に健康な生活を送るためにはどうすれば良いのかを考えることができる。								
②学習の進め方								
保健は答えが決まっていることを学ぶ教科ではありません。「健康」をキーワードにして様々な視点から現代社会の課題を知り、解決方法を考える教科です。 日常生活の中で「当たり前」と思っていることを問い直す姿勢を持って授業に臨みましょう。まずは自分の心身を大切にすることを学び、自分に周囲の人、自分の住む地域、世界の様々な健康上の課題について学ぶことで10年後いきいきと社会で活躍できる土台を作ります。授業を受けたらレポートに取り組む習慣を身に付け、単位認定テスト対策プリントを活用して早めに準備を行うことを心がけましょう。								
③メディア学習の活用指針								
保健授業の土台になるのは「ライブ授業」です。基本的な生活習慣の確立のためにも時間通りに参加することを心がけましょう(アーカイブで確認することもできます)。保健は、スクーリング減免に必要なメディア視聴時間の設定がありません。NHK高校講座や教科書インターネット講座の動画教材は、自分に合った学習形式、様々な単元の学習などに活用して下さい。じぶみらビデオでは、他教科の観点も取り入れながら授業を行っていますので、こちらも併せて活用しましょう。								
3. 評価の観点								
		評価の観点			評価の方法			
知識・技能		・日本における健康上の制度や仕組みについて理解できているか。 ・現代社会における健康上の課題を把握できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現		・健康上の課題を自分ごととして捉えることができるか。 ・自分自身の健康を維持するために、社会はどのような仕組みになっていて、どのような改善が必要か考えることができるか			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度		・将来的な健康の保持増進のために、自分自身が行うべき行動と社会全体で考えていくべき問題について、積極的に解決策を探そうとする姿勢を持つことができるか			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件								
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。						
集中スクーリング		すべての時数(上記)参加すること						
レポート		すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)						
単位認定試験		受験し、合格すること(合格点は30点以上)						

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	単元②「健康の考え方と成り立ち」
レポート	健康の考え方と成り立ち

第2クール

じぶみらライブ授業	単元③「現代における感染症の問題」
レポート	現代における感染症の問題

第3クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	単元⑤「生活習慣病の予防と回復」
レポート	生活習慣病の予防と回復

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	単元①日本における健康問題の変遷～歴史的な背景から健康を考える～
スクーリング	なし

後期

じぶみらビデオ	単元④「身体活動・運動と健康」
スクーリング	「喫煙・飲酒と健康」

1. 基本情報								
美術Ⅰ		普通	必修	単位数	2	前提科目	-	
担当教員		巽	レポート回数	6	スクーリング時数	4	最低視聴時間	6.0
教材			高校生の美術Ⅰ		副教材			
材料費・実習費用等について					なし			

2. 科目の概要
①科目のねらい 美術は「美しくする術」と書きますが、美しくすることだけがゴールではありません。学園の理念である、他者を思いやる「想像力」と新たな価値を生み出す「創造力」を身につけることに正面から向き合う科目です。また、個々のオリジナリティを最大限に尊重すること、他人と違う事を歓迎します。さらに、美術は創造科目と探究科目と密接なつながりを持つ科目です。すべての科目の表現を支え、自分の意見や考えをより伝わる形にして届ける役割も持っています。つまり、表現の上手・下手を気にすることなく自己表現の引き出しを増やす時間にする授業の構成としています。ぜひ楽しみに参加してください！
②学習の進め方 ・美術の基本的な技術と知識を学び、自己表現の引き出しを増やす。 ・アートの考え方を通じて、自分の意見(ものの見方)を持ち、色や言葉などをつかって表現する。 ・デザインの考え方を通じて、他者への想像力を持ち、作品や言葉などで表現する。
③メディア学習の活用指針 メディア視聴の内容は、レポートや授業内容と関連するものや、美術という幅広い分野の知識や視点を学ぶものまで多岐にわたります。美術の学びは、単に技術を身につけるだけでなく、作品の背景を知ること、社会とのつながりを理解すること、多様な表現に触れることによって、より豊かになります。メディア視聴は、自分のペースで繰り返し視聴できるという特長があります。理解を深めたい部分は何度も見返しながら、年間を通して計画的に取り組んでください。1年を通してさまざまな内容に触れることで、表現の引き出しを増やし、自分なりの視点を育てていきましょう。

3. 評価の観点		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	形や色、構成、材料や用具の特性などに関する基礎的な知識を理解し、それらを意図に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
思考・判断・表現	主題を基に発想を広げ、目的や条件に応じて表現方法を選択・構想し、自分の考えや意図が伝わるように工夫している。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	美術の学習に関心を持ち、試行錯誤を重ねながら粘り強く表現を追求し、自らの学びを振り返り次に生かそうとしている。	レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。

4. 単位認定要件	
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	① 美術概要1
レポート	① さまざまな表現1

第2クール

じぶみらライブ授業	② 美術概要2
レポート	② さまざまな表現2

第3クール

じぶみらライブ授業	③ 表現の基礎1
レポート	③ さまざまな表現3

第4クール

じぶみらライブ授業	④ 表現の基礎2
レポート	④ さまざまな表現4

第5クール

じぶみらライブ授業	⑤ 表現の応用1
レポート	⑤ さまざまな表現5

第6クール

じぶみらライブ授業	⑥ 表現の応用2
レポート	⑥ さまざまな表現6

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	色や形など、ものの見方を手がかりに、日常の中にあるアートの種を探します。
スクーリング	みんなで話し合ったり、お互いの作品を見合ったり、直接会っているからこそ取り組める内容にしています。安心な環境をお互いに作りましょう。

後期

じぶみらビデオ	視点を変えてみる楽しさを通して、自分なりの世界の感じ方を広げます。
スクーリング	みんなで話し合ったり、お互いの作品を見合ったり、直接会っているからこそ取り組める内容にしています。前期の内容を発展させた課題にチャレンジしてみよう。

1. 基本情報					
英語コミュニケーション I		普通	必修	単位数	3
担当教員	高田	レポート回数	9	スクーリング時数	5
教材			All Aboard! English Communication I	副教材	English Communication I WORKBOOK
材料費・実習費用等について				なし	

2. 科目の概要	
①科目のねらい 英語をコミュニケーションの手段としてとらえ、間違いを恐れずに使うことに挑戦する。 【聞く・読む】 日常的な話題について、話の要点や重要な情報を正確に聞き取り、または読み取り、書き手の意図を正しく受け取る。 【話す・書く】 習得した語句や表現を適切に用い、自分の経験や考えを整理して、自分なりの言葉で発信する基礎の力を養う。	
②学習の進め方 ○予習...東京書籍教科書授業インターネット講座で①教科書本文の意味 ②新出単語 ③ターゲット文法を確認しましょう。 ○実践...①じぶみらライブに参加しましょう。単元に関連した内容のインプット&アウトプットの場合です。 ②レポートに取り組みましょう。じぶみらビデオやじぶみらライブの内容も参考にしましょう。 ③NHK高校講座を視聴してターゲット文法の定着を図りましょう。 ※①～③の順番は前後しても構いません。自分の進めやすい順番を見つけましょう。 ○復習...副教材のワークブックに取り組んだり、上記の教材を見直したりしましょう。	
③メディア学習の活用指針 ※じぶみらライブに全て参加(またはアーカイブ視聴)+じぶみらビデオ視聴で最低視聴時間をクリアできます。 ・じぶみらライブ...軸となる授業です。単元に関連した内容のインプット・アウトプットを行います。 ・じぶみらビデオ...レポートに取り組む際にはこのビデオを参考にしながら解きましょう。 ・NHK高校講座...各クールで扱う文法の解説はこちらを参考にしましょう。Google ClassroomにどのLessonを視聴したらよいか記載しています。 ・東京書籍 教科書授業インターネット講座...教科書の音読・解説をしてくれます。まずはこちらで教科書の内容を確認するか、教科書を自分で音読・和訳してからレポートやライブに取り組むことを推奨します。	

3. 評価の観点		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	・基本的な文法をや単語を理解できているか ・教科書本文の内容理解ができているか	レポート・中間課題・単位認定試験の得点より評価する。
思考・判断・表現	・習得した技能を応用して使うことができ、自らの経験や思考を元に考え、表現することができるか	レポート・中間課題・単位認定試験の得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	・学んだことを自身の経験や考えと関連づけて自分の言葉で具体的に表現できているか ・高い学習意欲と探究心が明確にうかがえるか	レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。

4. 単位認定要件	
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	① Communication Activities ② Lecture: be動詞・一般動詞
レポート	① be動詞／一般動詞

第2クール

じぶみらライブ授業	③ Communication Activities ④ Lecture: 過去形／進行形
レポート	② 過去形・進行形

第3クール

じぶみらライブ授業	⑤ Communication Activities ⑥ Lecture: 助動詞／to不定詞／動名詞
レポート	③ 助動詞／to不定詞 ④ 動名詞

第4クール

じぶみらライブ授業	⑦ Communication Activities ⑧ Lecture: 受け身／比較表現
レポート	⑤ 受け身 ⑥ 比較表現

第5クール

じぶみらライブ授業	⑨ Communication Activities ⑩ Lecture: 現在完了形／名詞を後ろから説明する分詞
レポート	⑦ 現在完了形 ⑧ 名詞を後ろから説明する分詞

第6クール

じぶみらライブ授業	⑪ Communication Activities ⑫ 関係代名詞／Summary
レポート	⑨ 関係代名詞

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	英語を通して世界を見てみよう
スクーリング	Communication Activities・夢のような絶景

後期

じぶみらビデオ	英語を通して自分を見てみよう
スクーリング	Expressions・海の豊かさを守る

1. 基本情報								
情報Ⅰ		普通	必修	単位数	2	前提科目	-	
担当教員		野中	レポート回数	4	スクーリング時数	3	最低視聴時間	5.1
教材			新編情報Ⅰ		副教材			情報Ⅰ 資料ノート
材料費・実習費用等について					なし			
2. 科目の概要								
①科目のねらい								
(1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。								
②学習の進め方								
教科書は5章構成になっており、1章から4章までが4本のレポートの各章に対応しています。各レポートごとの学習範囲をつかみましよう。次にレポートの問題を把握したうえで関連する部分の教科書の説明を読んでもらえると取り組みやすいです。副読本の資料ノートを活用するのもいいですね。 分からない箇所はメディア学習(放送授業等)を活用して解決し、計画的に学習を進めて単位認定試験に備えましよう。								
③メディア学習の活用指針								
情報Ⅰの最低視聴時間は5.1時間と少し多めです。ライブ授業に毎回参加していれば事足りますが、積極的にレポートの解説部分にあたるNHK高校講座や教科書インターネット講座の教材を活用ましよう。視聴報告を忘れずに出ましよう。 さらに、「ライフイズテック」コンテンツの利用も有効です。自分が興味や関心を持った分野について、是非ワークに取り組んでください。								
3. 評価の観点								
	評価の観点				評価の方法			
知識・技能	情報社会の特性や法規、情報技術(ネットワーク・セキュリティ・データ活用等)の仕組みを理解し、問題解決に向けて情報機器やツールを適切に活用する技能を身につけている。				レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現	社会や身近な事象から問題を発見し、情報技術を活用して解決策を構想するとともに、その過程や結果を他者に分かりやすく表現・伝達している。				レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度	情報社会の一員として、情報の適正な取り扱いや技術の影響を考慮しながら、主体的に問題解決に取り組み、社会の発展に寄与しようとしている。				レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件								
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。							
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること							
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)							
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)							

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	オリエンテーション AIを使いこなす第一歩～Geminiでできること、Life is Techで目指すこと～
レポート	なし

第2クール

じぶみらライブ授業	スマホを持つ君へ～IoT・AI・選挙、情報技術が変える私たちの暮らし～
レポート	第1章 情報で問題を解決する

第3クール

じぶみらライブ授業	すべての情報は0と1でできている
レポート	第2章 情報を伝える

第4クール

じぶみらライブ授業	命令を組み立てる～アルゴリズムとプログラミング入門～
レポート	第3章 コンピュータを活用する

第5クール

じぶみらライブ授業	シミュレーションを体験しよう
レポート	第4章 データを活用する

第6クール

じぶみらライブ授業	知識を整理し、答えを導く～NotebookLMとGeminiで学びを深める～
レポート	なし

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	身の回りに潜んでいる情報技術
スクーリング	① 世界を一枚の紙の上に(インフォグラフィック)

後期

じぶみらビデオ	自分のWebページを作ってみよう ～京都の街並みを紹介しよう～
スクーリング	② 正しい情報を見極め、安全に生き抜け！ ③ AIと人間、どっちが上？～体験して語り合おう～

1. 基本情報						
総合的な探究の時間 I		総合	必修	単位数	1	
担当教員		川勝	レポート回数	2	スクーリング時数	2
前提科目		-				
教材			-			
副教材			-			
材料費・実習費用等について			なし			
2. 科目の概要						
①科目のねらい						
社会的な評価や他者から与えられたテーマ（SDGsや企業からのお題等）ではなく、自分自身の体験に根ざした「当事者性」のある問いを立てることを目指します。「問いの立て方」メソッドを通じ、自分の「なぜ」に誠実に向き合うことで、10年後もいきいきと学び続けられる「自律した探究者」としての姿勢を育みます。						
②学習の進め方						
年間を通じて「プレ探究」の3つのフェーズ（体験の棚卸し、エピソード化、問いの導出）を段階的に進めます。まず、日常の些細な違和感や「好き・嫌い」を掘り起こし、それを対話型ワークを通じて「具体的なエピソード」へと磨き上げます。最終的に、自分だけの問いを他者にも伝わる「公共性」のある言葉へと変換し、次年度の本格的な探究の土台を作ります。						
③メディア学習の活用指針						
「じぶみらビデオ」で探究の本質や手法を学び、「ライブ授業」では全国のクラスメイトとチャット等でリアルタイムに意見を交換し、多様な視点（他者という鏡）を取り入れます。オンデマンドとライブの相互作用により、自分の価値観を客観的に見つめ直すプロセスを重視してください						
3. 評価の観点						
	評価の観点			評価の方法		
知識・技能	自分の体験を客観的に捉えて「具体的なエピソード」として記述できるか、また「操作的定義」などの手法を用いて問いを公共化できるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。		
思考・判断・表現	ワーク等を通じて自らの無意識の前提に気づき、当事者性と公共性を両立した独自の「問い」を導き出せているか			レポート・単位認定試験の得点より評価する。		
主体的に学習に取り組む態度	他者からのフィードバックを真摯に受け止め、自らの「なぜ」にこだわりを持って、粘り強く問いを磨き続けようとする姿勢を評価します。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。		
4. 単位認定要件						
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。					
集中スクーリング	すべての時数（上記）参加すること					
レポート	すべて提出し、すべて合格すること（合格点は40点以上）					
単位認定試験	受験し、合格すること（合格点は30点以上）					

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	オリエンテーション & 「体験の大解剖」(日常の違和感を棚卸し) 「当たり前」を疑え！全国モヤモヤ比較(他者の視点から自分事化を深める)
レポート	『私の偏愛・モヤモヤ エピソードカタログ』

第2クール

じぶみらライブ授業	「問い」の変換メーカー — 7つの型でエピソードを問いに変える 問いを「公共化」する — 操作的定義 & チャンクダウン
レポート	『問いの進化レポート — 私の問いはこう変わった』

第3クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	なぜ「自分の話」が世界を変える問いになるのか
スクーリング	「探偵」になって価値観を掘り起こす⇒校内フィールドワークへ

後期

じぶみらビデオ	次の探究へ — 「問い」の先にあるもの
スクーリング	問いの壁打ち — 仲間からのフィードバックで問いを最終決定

1. 基本情報								
創造基礎 I		学校設定	必修	単位数	2	前提科目	-	
担当教員		巽	レポート回数	2	スクーリング時数	2	最低視聴時間	0.0
教材				-				
副教材				-				
材料費・実習費用等について								
2. 科目の概要								
①科目のねらい (1)身の回りや社会課題に目を向け、問いを立て、解決に向けて考えるための思考方法を身に付ける。 (2)大学の「マンデイプロジェクト」を編集した実践的な課題に取り組み、創造的に考える経験を重ねる。 (3)「デザイン思考」とも呼ばれる考え方を学び、誰もが身に付けることのできる思考の型として理解する。 (4)頭だけでなく体や心も使いながら試行錯誤する姿勢を養い、自分なりの考えを形にする力を育てる。								
②学習の進め方 すべてのビデオとレポートが連動しています。ビデオを見ながらレポートに取り組みましょう。 この科目では観察、対話、振り返りといったプロセスを繰り返しながら、課題解決に向けた思考方法を体験的に学びます。アーティストやデザイナーの視点を参考にしつつ、個人やグループでの活動を行い、考えたことや気付いたことを共有します。「知る」「探る」「考える」「つくる」「届ける」の5つを軸に、記録や簡単なレポートを通した考え方の変化やプロセスそのものを大切にします。								
③メディア学習の活用指針 創造科目にはライブ授業が基本的にありませんが、じぶみらビデオを見ながらレポートと作品を提出することで、スクーリングの際に講評が受けられます。 ※創造科目にはNHK高校講座・教科書インターネット授業の動画はありません。								
3. 評価の観点								
		評価の観点			評価の方法			
知識・技能		・課題解決に向けた基本的な思考の流れ(課題発見、発想、振り返りなど)を理解し、活動の中で活用しているか。 ・観察や対話、記録などを通じて、情報や気付きを適切に整理することができているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現		・課題に対して自分なりの視点をもち、柔軟に考えながら解決策を検討しているか。 ・考えた過程や試行錯誤の内容を、文章、図、イラストなどで分かりやすく表現できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度		・正解のない課題に対しても粘り強く取り組み、失敗や行き詰まりを学びに生かそうとしているか。 ・学習に継続して参加し、振り返りを通して自分の考え方を深めようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件								
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。						
集中スクーリング		すべての時数(上記)参加すること						
レポート		すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)						
単位認定試験		受験し、合格すること(合格点は30点以上)						

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	タイムトライアル
レポート	タイムトライアル

第2クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	I am ボールペン
レポート	I am ボールペン

第4クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	ビー玉の道行
スクーリング	ビー玉の道行

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報									
創造基礎Ⅱ		学校設定	必修	単位数	2	前提科目	-		
担当教員		巽	レポート回数	2	スクーリング時数	2	最低視聴時間	0.0	
教材				-				副教材	-
材料費・実習費用等について									
2. 科目の概要									
①科目のねらい (1)身の回りや社会課題に目を向け、問いを立て、解決に向けて考えるための思考方法を身に付ける。 (2)大学の「マンディプロジェクト」を編集した実践的な課題に取り組み、創造的に考える経験を重ねる。 (3)「デザイン思考」とも呼ばれる考え方を学び、誰もが身に付けることのできる思考の型として理解する。 (4)頭だけでなく体や心も使いながら試行錯誤する姿勢を養い、自分なりの考えを形にする力を育てる。									
②学習の進め方 すべてのビデオとレポートが連動しています。ビデオを見ながらレポートに取り組みましょう。 この科目では観察、対話、振り返りといったプロセスを繰り返しながら、課題解決に向けた思考方法を体験的に学びます。アーティストやデザイナーの視点を参考にしつつ、個人やグループでの活動を行い、考えたことや気付いたことを共有します。「知る」「探る」「考える」「つくる」「届ける」の5つを軸に、記録や簡単なレポートを通した考え方の変化やプロセスそのものを大切にします。									
③メディア学習の活用指針 創造科目にはライブ授業が基本的にありませんが、じぶみらビデオを見ながらレポートと作品を提出することで、スクーリングの際に講評が受けられます。 ※創造科目にはNHK高校講座・教科書インターネット授業の動画はありません。									
3. 評価の観点									
		評価の観点				評価の方法			
知識・技能		・課題解決に向けた基本的な思考の流れ(課題発見、発想、振り返りなど)を理解し、活動の中で活用しているか。 ・観察や対話、記録などを通じて、情報や気付きを適切に整理することができているか。				レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現		・課題に対して自分なりの視点をもち、柔軟に考えながら解決策を検討しているか。 ・考えた過程や試行錯誤の内容を、文章、図、イラストなどで分かりやすく表現できているか。				レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度		・正解のない課題に対しても粘り強く取り組み、失敗や行き詰まりを学びに生かそうとしているか。 ・学習に継続して参加し、振り返りを通して自分の考え方を深めようとしているか。				レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件									
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。							
集中スクーリング		すべての時数(上記)参加すること							
レポート		すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)							
単位認定試験		受験し、合格すること(合格点は30点以上)							
5. じぶみらライブ授業・レポート									
第1クール									

じぶみらライブ授業	
レポート	
第2クール	
じぶみらライブ授業	
レポート	
第3クール	
じぶみらライブ授業	
レポート	
第4クール	
じぶみらライブ授業	新しいラジオ体操
レポート	新しいラジオ体操
第5クール	
じぶみらライブ授業	
レポート	
第6クール	
じぶみらライブ授業	わたしのスーブ
レポート	わたしのスーブ
6. じぶみらビデオ・スクーリング	
前期	
じぶみらビデオ	
スクーリング	
後期	
じぶみらビデオ	新しいラジオ体操・わたしのスーブ
スクーリング	暗闇

1. 基本情報					
言語文化		普通	必修	単位数	2
前提科目		-			
担当教員	佐々野	レポート回数	6	スクーリング時数	1
最低視聴時間		2.0			
教材			新編言語文化		
副教材			新編言語文化 学習課題ノート		
材料費・実習費用等について			なし		
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
・日本文学に関わる様々な文化を広く知る。					
・多様な種類の文学に触れ、歴史や文化と共に作品を味わう。					
②学習の進め方					
「現代の国語」では、作品をとおして自分の過去や未来について考えたり、人生の大きなテーマとなる課題に向き合ったり、作品との出会いに意味付けすることを考えていきました。それをふまえて「言語文化」では近代(少し前)の文学や古典(かなり前)に触れて、歴史や文化と合わせて文学を学んでいきます。作品そのものを味わいながら、文学が示してくれる時代が変わっても変わらないもの(普遍性)をみんなで見つめていきましょう。					
③メディア学習の活用指針					
ライブ授業では、同じテーマについてみんなで話して、本文の内容を深めます。また、レポート対策の時間をライブ授業の中で確保しますので、レポートが不安な人も安心して下さいね。					
前期・後期に1本ずつあるビデオでは、半期ごとのテーマに沿って、「表現すること」を根本的に考えていく内容です。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	漢字の読み・書きの力、修辞技法の知識、言葉の意味の理解、単純な読解問題を身につけられているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	情報の整理が必要なレベルの読解や、読解を伴い文章表現ができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	まずは、目の前の課題に向き合う学びに対する誠実な姿勢があるか。そのうえで、自ら必要な学びを判断し、それを獲得するために努力することができるか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	さくらさくらさくら
レポート	さくらさくらさくら

第2クール

じぶみらライブ授業	春の歌
レポート	春の歌

第3クール

じぶみらライブ授業	羅生門
レポート	羅生門

第4クール

じぶみらライブ授業	「美しい」ということ
レポート	「美しい」ということ

第5クール

じぶみらライブ授業	守株/枕草子
レポート	守株/枕草子

第6クール

じぶみらライブ授業	夢十夜
レポート	夢十夜

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	
スクーリング	なし

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報								
文学国語		普通	選択	単位数	4	前提科目	-	
担当教員	倉部	レポート回数	12	スクーリング時数	2	最低視聴時間	4.0	
教材			文学国語		副教材			文学国語 学習課題ノート
材料費・実習費用等について					なし			
2. 科目の概要								
①科目のねらい								
・他者（作者・クラスメイト）の意見をふまえて考えることができる。 ・登場人物の心情を推し量り、作品の主題を探ることができる。 ・作品をふまえて根拠をもった文章表現、ができる。								
②学習の進め方								
「現代の国語」の倍のボリュームがあるので、国語をたっぷり楽しみたい人に向けた授業になっています。文学の中でも芸術性の高い「小説」や「詩」を読んでいきます。これまで随想や評論、古典作品に出会ってきて、基本的な読解力を身に着けた皆さんと、より深く作品を読解していきます。 短い作品もあれば、教科書におさまりきらない長さの作品もあります。人間が生きていく上で出会う様々な困難や、大きなテーマに出会いながら、少し踏み込んだ読解作業をしていきましょう。								
③メディア学習の活用指針								
ライブ授業では、同じテーマについてみんなで話して、本文の内容を深めます。また、レポート対策の時間をライブ授業の中で確保しますので、レポートが不安な人も安心して下さいね。 前期・後期に1本ずつあるビデオでは、半期ごとのテーマに沿って、「表現すること」を根本的に考えていく内容です。								
3. 評価の観点								
		評価の観点			評価の方法			
知識・技能		漢字の読み・書きの力、修辞技法の知識、言葉の意味の理解、単純な読解問題を身につけられているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現		情報の整理が必要なレベルの読解や、読解を伴い文章表現ができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度		まずは、目の前の課題に向き合う学びに対する誠実な姿勢があるか。 そのうえで、自ら必要な学びを判断し、それを獲得するために努力することができるか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件								
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。						
集中スクーリング		すべての時数（上記）参加すること						
レポート		すべて提出し、すべて合格すること（合格点は40点以上）						
単位認定試験		受験し、合格すること（合格点は30点以上）						

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	光の窓/文学のふるさと
レポート	光の窓/文学のふるさと

第2クール

じぶみらライブ授業	山月記
レポート	山月記

第3クール

じぶみらライブ授業	鯨/国語から旅立って
レポート	鯨/国語から旅立って

第4クール

じぶみらライブ授業	山椒魚
レポート	山椒魚

第5クール

じぶみらライブ授業	こころ
レポート	こころ

第6クール

じぶみらライブ授業	あの朝/永訣の朝
レポート	あの朝/永訣の朝

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報								
世界史探究		普通	選択	単位数	3	前提科目	-	
担当教員	川勝	レポート回数	9	スクーリング時数	2	最低視聴時間	2.0	
教材			世界史探究		副教材			詳説世界史図録 第5版
材料費・実習費用等について					なし			

2. 科目の概要
①科目のねらい 「世界史探究」は、世界の歴史の大きな流れを理解し、現代の私たちが直面する地球規模の課題を歴史的な視点から考える科目です。単なる年号や出来事の暗記ではなく、「諸地域」の特質がどのように形成され、それらが交流・結合して現在の世界が作られてきたのかという「大きな枠組み」を学びます。歴史的な資料を読み解き、自ら「問い」を立てて探究する活動を通して、多様な文化や価値観を尊重する姿勢と、グローバル化する社会で主体的に生きる力を養うことを目指します。
②学習の進め方 1.歴史の枠組みの理解と情報の収集:教科書や講義動画を通じて、世界の歴史の転換点や相互のつながりを理解します。また、教科書だけでなく地図や統計、写真などの諸資料から必要な情報を集める技能を身につけます。 2.多面的な考察と問いの探究:「なぜこの出来事が起きたのか」「現代とどうつながるのか」という問いを持ち、歴史的事象を原因・結果・影響など様々な角度(多面的・多角的な視点)から考察します。 3.考察のまとめと表現:学んだ知識や自らの考えをレポート等で論理的に表現します。歴史的な経緯を踏まえて、現代の課題についても自分なりの考えを深めていきます。
③メディア学習の活用指針 まずは「じぶみらライブ授業」に参加し、疑問点の解消やレポート作成のヒントをつかむことから始めましょう。ライブの時間は質問もできますし、後からアーカイブで復習もできます。より深く学びたい時は、歴史的資料や映像が豊富な「NHK高校講座」や、「東京書籍教科書インターネット講座」が役立ちます。多様なメディアを自分の目的や好みに合わせて活用し、理解を深めましょう。

3. 評価の観点		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	世界の歴史の大きな枠組み(諸地域の歴史的特質の形成、交流・再編、結合・変容)や、重要な歴史的事象について理解しているかを問います。また、諸資料から目的に応じた情報を適切に収集し、読み解く技能が身についているかを評価します。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
思考・判断・表現	「歴史的な見方・考え方」を働かせ、事象の背景・原因・結果などを多面的・多角的に考察できているかを評価します。また、考察した内容を論理的に構成し、読み手に分かりやすく表現・説明する力が身についているかを見ます。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史や地球規模の課題に関心を持ち、自ら問いを立てて主体的に解決しようとする姿勢を評価します。学習を通して、他者の多様な文化や価値観を尊重し、よりよい社会の実現について考えようとしているかを見ます。	レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。

4. 単位認定要件	
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	西アジアと地中海世界
レポート	①諸地域の歴史的特質(1)「古代文明の出現～西アジアと地中海地周辺」

第2クール

じぶみらライブ授業	中世ヨーロッパ
レポート	②諸地域の歴史的特質(2)「南アジア～アフリカ、オセアニア、古アメリカ」 ③諸地域の交流と再編(1)「イスラーム世界の拡大と繁栄～中世ヨーロッパ」

第3クール

じぶみらライブ授業	主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大
レポート	④諸地域の交流と再編(2)「中華世界の変容とモンゴル帝国～大交易時代と世界の一体化」 ⑤諸地域の交流と再編(3)「ユーラシア諸帝国の繁栄～主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大」

第4クール

じぶみらライブ授業	国民国家と近代社会の形成
レポート	⑥一体化していく世界(1)「国民国家と近代社会の形成～世界市場の形成とアジア諸国の変容」

第5クール

じぶみらライブ授業	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦
レポート	⑦一体化していく世界(2)「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行～第一次世界大戦の展開と諸地域の変容」 ⑧一体化していく世界(3)「国際協調体制の動揺と第二次世界大戦～第二次世界大戦と戦後の世界」

第6クール

じぶみらライブ授業	冷戦の変容・終結と経済のグローバル化
レポート	⑨グローバル化と地球的課題「冷戦の世界化と国際制度～21世紀の地球的課題と人類社会」

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	権利って誰のもの？ ～主権・選挙権・市民権のルーツ～
スクーリング	「特権」から「人権」へ ～古代・中世の社会を考える～

後期

じぶみらビデオ	世界が変わる瞬間「革命」～改革・デモ・クーデターとの違い～
スクーリング	歴史を動かした市民革命 ～中世から近代への転換～

1. 基本情報											
数学Ⅱ		普通	選択	単位数	4	前提科目	数学Ⅰ				
担当教員	長谷川	レポート回数	12	スクーリング時数	2	最低視聴時間	4.0				
教材			新数学Ⅱ					副教材	ニューファースト新数学Ⅱ		
材料費・実習費用等について						なし					

2. 科目の概要
①科目のねらい (1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に処理する技能を習得する。 (2)数学的な見方・考え方を働かせ、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、既習の知識を統合的・発展的に考察し、論理的に思考・判断して表現する力を身につける。 (3)数学のよさを認識し、数学を積極的に活用しようとする態度を養うとともに、粘り強く問題解決に取り組む中で自らの学習過程を振り返り、評価・改善しようとする態度を育てる。
②学習の進め方 教科書や学習書を読み、まずは「例題」を通して公式や解法の基礎を理解することから始めます。次に、問や演習問題に取り組み、理解度を確認しながら「レポート」を作成・提出してください。返却されたレポートの添削箇所は必ず見直し、間違いを修正することで確かな学力が定着します。分からない箇所はメディア学習（放送授業等）を活用して解決し、計画的に学習を進めて単位認定試験に備えましょう。
③メディア学習の活用指針 NHK高校講座の内容が、教科書の内容とほぼ完全にマッチしていますので、それを活用することを一番にお勧めします。教科書インターネット講座の活用も有効です。「じぶみらライブ授業」では、レポートを解くのに役立つポイントを中心に扱うため、積極的に参加して疑問を解消しましょう（後ほどアーカイブを視聴することもできます）。一方、「じぶみら授業」は各学期に1回の特別な「冒険的な学び」として配信します。メディア視聴時間は4.0時間なので、ライブに参加し視聴報告を出していれば十分クリアできます。

3. 評価の観点		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分の考えなどの基本的な概念や性質、計算方法を体系的に理解し、それらを活用して数学的な問題を解決する技能を身につけている。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
思考・判断・表現	事象を数学的に捉え、既習の知識・技能を統合的・発展的に活用して論理的に考察し、解決の過程や結果を数学的な表現を用いてわかりやすく説明・伝達している。	レポート・単位認定試験の得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く問題解決に取り組もうとともに、自らの学習過程を振り返り、評価・改善して学習を深めようとしている。	レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。

4. 単位認定要件	
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
集中スクーリング	すべての時数（上記）参加すること
レポート	すべて提出し、すべて合格すること（合格点は40点以上）
単位認定試験	受験し、合格すること（合格点は30点以上）

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	数学の"工具箱"を開けよう
レポート	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 2節 2次方程式 1章 方程式・式と証明 3節 高次方程式 4節 式と証明

第2クール

じぶみらライブ授業	数式が生み出すアート — 円×直線の美
レポート	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 2章 図形と方程式 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域

第3クール

じぶみらライブ授業	③音楽は「波」でできている ～三角関数が奏でるハーモニ～
レポート	3章 三角関数 1節 三角関数 3章 三角関数 2節 加法定理

第4クール

じぶみらライブ授業	④宇宙の距離を測る物差し ～対数というスケール～
レポート	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 4章 指数関数と対数関数 2節 対数関数

第5クール

じぶみらライブ授業	⑤「この瞬間」を切り取る数学 ～微分入門～
レポート	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 5章 微分と積分 2節 導関数の応用

第6クール

じぶみらライブ授業	⑥面積の向こう側 ～積分が見せる世界～
レポート	5章 微分と積分 3節 積分(1) 5章 微分と積分 3節 積分(2)

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	京都のバス路線図～領域と線形計画法～
スクーリング	二項定理で読み解く自然界の形

後期

じぶみらビデオ	嵯峨野トロッコ列車の速度変化～微分の基本～
スクーリング	ジェットコースターのコース設計と接線

1. 基本情報								
数学A		普通	選択	単位数	2	前提科目	-	
担当教員		野中	レポート回数	6	スクーリング時数	1	最低視聴時間	2.0
教材			新数学A		副教材			ニューファースト新数学A
材料費・実習費用等について					なし			
2. 科目の概要								
①科目のねらい								
(1)「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」などの概念や原理・法則を体系的に理解する。 (2)事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、数学的な見方・考え方を働かせ、論理的に推論する力や、事象をあてはめて考える力を身につける。 (3)数学のよさを認識し、それらを活用する態度を育てる。								
②学習の進め方								
教科書や学習書を読み、まずは「例題」を通して公式や解法の基礎を理解することから始めます。次に、問や演習問題に取り組み、理解度を確認しながら「レポート」を作成・提出してください。返却されたレポートの添削箇所は必ず見直し、間違いを修正することで確かな学力が定着します。分からない箇所はメディア学習(放送授業等)を活用して解決し、計画的に学習を進めて単位認定試験に備えましょう。								
③メディア学習の活用指針								
NHK高校講座の内容が、教科書の内容に沿っていますので、それを活用することを一番にお勧めします。教科書インターネット講座の活用も有効です。「じぶみらライブ授業」では、レポートを解くのに役立つポイントを中心に扱うため、積極的に参加して疑問を解消しましょう(後ほどアーカイブを視聴することもできます)。一方、「じぶみら授業」は各学期に1回の特別な「冒険的な学び」として配信します。メディア視聴時間は2.0時間なので、ライブに参加し視聴報告を出していれば十分クリアできます。								
3. 評価の観点								
		評価の観点			評価の方法			
知識・技能		順列・組合せや確率、平面図形・空間図形の性質、整数の性質などに関する基本的な概念や定理・公式を体系的に理解し、それらを活用して数学的な問題を処理する技能を身につけている。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
思考・判断・表現		事象を数学的に捉え、場合の数を効率的に数え上げたり図形の性質を論理的に考察したりして、解決の過程や結果を数学的な表現を用いてわかりやすく説明・伝達している。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。			
主体的に学習に取り組む態度		数学のよさを認識し、身近な事象や社会生活の中で数学(確率や図形など)を積極的に活用しようとするとともに、自ら積極的に問題解決に取り組み、自らの学習過程を振り返って評価・改善しようとしている。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。			
4. 単位認定要件								
視聴報告		減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。						
集中スクーリング		すべての時数(上記)参加すること						
レポート		すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)						
単位認定試験		受験し、合格すること(合格点は30点以上)						

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	推しグループの並び方は何通り？ ～組み合わせと、順列を徹底攻略～
レポート	1章 場合の数と確率 1節 場合の数

第2クール

じぶみらライブ授業	②数学で"トクする"方法を見抜け！ ～確率と期待値で損得を判断する～
レポート	1章 場合の数と確率 2節 確率

第3クール

じぶみらライブ授業	③図形の中に潜む「比」の世界 ～なぜ図形の問題には“比”がこんなに出てくるのか？～
レポート	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎 2節 三角形の性質

第4クール

じぶみらライブ授業	④サッカーのシュートが最も決まりやすい位置 ～円の中に潜む角度の法則～
レポート	2章 図形の性質 3節 円の性質 4節 空間図形

第5クール

じぶみらライブ授業	⑤暗号解読に挑戦！ ～数の世界の秘密のコトバ(n進法)～
レポート	3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる

第6クール

じぶみらライブ授業	⑥最強の割り算と魔法の数字盤 ～ユークリッドの互除法・魔法陣～
レポート	3章 数学と人間の活動 3節 はかる 4節 数学で遊ぶ

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	ナンバーズで一攫千金は可能か？～場合の数と順列～
スクーリング	変えた方がオトク？

後期

じぶみらビデオ	京都駅ビルの大階段～整数の性質と余りの世界～(仮)
スクーリング	なし

1. 基本情報					
化学基礎		普通	選択必修	単位数	2
担当教員	中谷	レポート回数	6	スクーリング時数	4
教材			新編化学基礎	副教材	改訂 ニューステップアップ化学基礎
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
化学的な事物・現象に関わり、観察や実験を通して以下の資質・能力を育成します。「物質は粒子からできている」という粒子概念を柱とし、物質の構成や変化(酸・塩基、酸化還元)についての基本原理を理解することを目指します。 (1)物質の性質を、それを構成する粒子(原子・分子・イオン)の配列や結合と関連付けて捉える力を養います。 (2)化学変化における物質の量的な関係(量的関係)を理解し、活用できる力を身につけます。					
②学習の進め方					
まずは、じぶみらライブに参加しましょう。学すべき単元の中からいくつかのトピックスについて掘り下げて学習し、教科に対する興味関心を深めましょう。そのうえで教科書や学習書を読み、太字で書かれているような重要語句や原理・法則を理解することから始めます。次にレポートの問題に取り組みましょう。じぶみらビデオでは、レポートの問題に取り組めるように所々に解説が盛り込まれています。さらに、レポートの復習や発展的な内容の理解として、NHK高校講座を視聴したり、副教材の問題集に取り組みましょう。					
③メディア学習の活用指針					
メディア学習の中心となるのは、双方向性のある「じぶみらライブ」の授業です。参加できなかった場合でもアーカイブ配信を視聴することができるので、可能な限り全てのじぶみらライブに参加しましょう。 レポート学習の助けとなるのが、「じぶみらビデオ」です。また、じぶみらビデオでは生徒の興味・関心を引き出すような実生活と地続きな科学の学びを提供します。また、各回趣向を凝らした動画が提供されている「NHK高校講座」や読み上げ機能のある「教科書インターネット講座」を併用し、自分に合った方法で理解を深めましょう。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	基本法則と用語 元素記号、周期表の構成、原子の構造、化学結合の種類、酸・塩基の定義などを理解しているか。化学式の記述 化学式、イオン反応式、化学反応式を正しく書くことができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	化学反応式に基づいて、反応に必要な物質質量や濃度を論理的に計算・導出できるか。中和滴定曲線やイオン化傾向などのデータから、どのような化学反応が起きているかを分析・考察できるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に対して興味・関心を持ち、粘り強く学習しようとしているか。自らの学習活動を振り返り、学習内容を日常生活や社会と関連付けようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	物質の成分と構成元素
レポート	物質の成分と構成元素

第2クール

じぶみらライブ授業	原子の構造と元素の周期表、電子配置
レポート	原子の構造と元素の周期表、電子配置

第3クール

じぶみらライブ授業	イオンとイオン結合、共有結合と電子式・構造式
レポート	イオンとイオン結合、共有結合と電子式・構造式

第4クール

じぶみらライブ授業	物質量と化学反応式、溶液の濃度、量的関係
レポート	物質量と化学反応式、溶液の濃度、量的関係

第5クール

じぶみらライブ授業	酸・塩基と中和、量的関係
レポート	酸・塩基と中和、量的関係

第6クール

じぶみらライブ授業	酸化と還元、電池
レポート	酸化と還元、電池

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	元素の周期性
スクーリング	元素記号カルタ・カードゲーム「mol」、炎色反応

後期

じぶみらビデオ	身近な酸化・還元反応
スクーリング	酸・アルカリ試薬、コイン電池を作ろう

1. 基本情報					
生物基礎		普通	選択必修	単位数	2
担当教員 早川		レポート回数	6	スクーリング時数	4
教材		新編生物基礎		副教材	改訂 ニューステップアップ生物基礎
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
生命現象に対する関心や探究心を高め、観察や実験を通して以下の資質・能力を育成します。 (1) 生命現象を「共通性」と「多様性」の視点から捉え、構造と機能の関連性を考える力を養う。 (2) 私たちの健康(恒常性・免疫)や、地球環境(生態系・植生)について科学的に理解する。					
②学習の進め方					
まずは、じぶみらライブに参加しましょう。学すべき単元の中からいくつかのトピックスについて掘り下げて学習し、教科に対する興味関心を深めましょう。そのうえで教科書や学習書を読み、太字で書かれているような重要語句や原理・法則を理解することから始めます。次にレポートの問題に取り組みましょう。じぶみらビデオでは、レポートの問題に取り組めるように所々に解説が盛り込まれています。さらに、レポートの復習や発展的な内容の理解として、NHK高校講座を視聴したり、副教材の問題集に取り組みましょう。					
③メディア学習の活用指針					
メディア学習の中心となるのは、双方向性のある「じぶみらライブ」の授業です。参加できなかった場合でもアーカイブ配信を視聴することができるので、可能な限り全てのじぶみらライブに参加しましょう。 レポート学習の助けとなるのが、「じぶみらビデオ」です。また、じぶみらビデオでは生徒の興味・関心を引き出すような実生活と地続きな科学の学びを提供します。また、各回趣向を凝らした動画が提供されている「NHK高校講座」や読み上げ機能のある「教科書インターネット講座」を併用し、自分に合った方法で理解を深めましょう。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	細胞小器官、遺伝子DNA)、体内環境、生態系に関する用語や仕組みを正しく理解しているか。光学顕微鏡(マイクロメーター含む)の操作、プレパラートの作成、スケッチの技法を身につけているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	血糖値の変動グラフや、植生の遷移図などのデータを読み取り、説明できるか。生命現象のメカニズム(例:腎臓での再吸収など)を、図や文章を用いて説明できるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	生命現象に対して興味・関心を持ち、粘り強く学ぼうとしているか。自らの学習活動を振り返り、学習内容を日常生活や社会と関連付けようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	生物の多様性と共通性
レポート	生物の特徴

第2クール

じぶみらライブ授業	遺伝子の本体としてのDNA
レポート	遺伝子とそのはたらき

第3クール

じぶみらライブ授業	交感神経の働き
レポート	生物の体内環境の維持

第4クール

じぶみらライブ授業	免疫と医療
レポート	免疫

第5クール

じぶみらライブ授業	身近な樹木を知ろう
レポート	植生

第6クール

じぶみらライブ授業	生態系を考えよう
レポート	生物の多様性と生態系

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	知られざる微生物の世界
スクーリング	微生物の世界の多様性

後期

じぶみらビデオ	生態系とその保全
スクーリング	生態系を考える

1. 基本情報					
家庭基礎		普通	必修	単位数	2
担当教員	八日市	レポート回数	4	スクーリング時数	3
教材			家庭基礎 自立・共生・創造		
副教材					
材料費・実習費用等について			なし		
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
家庭科は、生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身に付けるとともに、暮らしや社会の課題を結び付けて考え、新しい価値観や行動を生み出すことを目指しています。					
①生活の自立 →生活に必要な知識や技能を身に付け、日々の生活に生かし生活を豊かで充実したものにする。					
②多様な人々・自然との共生 →様々な人・ものに目を向け、共に支え合うために何ができるかを考える。					
③生き方の創造 →時代や社会の変化に対応し、生活を変革しながら自分らしい生き方を創造する。					
②学習の進め方					
家庭科の学習を通して、これからの自分や社会の生活をより快適に豊かにしていくことができます。					
まずは自分の生活の中の課題を見つけ「なぜ?」、よりよくする方法をについて理解し「なるほど!」、考え「どうする?」、実際にやってみる「やってみよう!」ことがとても大切です。そして様々な知識を知る、技能ができることで生活が豊かになり心がウキウキしていきます。生活を豊かにする方法は人それぞれの価値観によっても違います。その違いをこの学習を通して実感し、自分にあった方法を探求していきましょう。					
③メディア学習の活用指針					
「じぶみらライブ授業」「動画」視聴を通して、様々な実物や実験を見て、そして解説を聞くことで理解を深めることはとても大切です。ライブならではのワクワク・ドキドキする体験と一緒に味わいましょう。					
「家庭基礎」の教科書にある QRコードには様々な教材や動画があります。短時間で分かりやすい解説もあります。家庭科への興味・関心を高めるためにも活用してみてください。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	生活を科学的に理解し、自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために生活を科学的に探究し、生涯を通して生活を創造している。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実現しようとしている。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	なし
レポート	なし

第2クール

じぶみらライブ授業	生活の自立についての学習
レポート	生活の自立(食生活・衣生活)について

第3クール

じぶみらライブ授業	生活の自立についての学習
レポート	生活の自立(住生活・経済生活)について

第4クール

じぶみらライブ授業	なし
レポート	なし

第5クール

じぶみらライブ授業	家族・社会との共生についての学習
レポート	生涯を見通す・人生をつくる・子どもと共に育つ・超高齢社会を共に生きる・共に生き、共に支える

第6クール

じぶみらライブ授業	生活の創造についての学習
レポート	持続可能な生活を営む・これからの生活を創造する

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	生活の自立(これからの衣食住生活について)
スクーリング	生活の自立(生活に役立つ衣食住生活を体験しよう)

後期

じぶみらビデオ	家族・社会との共生、生活の創造(持続可能な社会・これからの社会の創造について)
スクーリング	家族・社会との共生、生活の創造(持続可能な社会・これからの社会を創造しよう)

1. 基本情報					
体育Ⅱ		普通	必修	単位数	2
担当教員	高木	レポート回数	2	スクーリング時数	4
教材			副教材		
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
(1)心と身体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の実践を図る。 (2)積極的に運動に親しむ資質や態度を養う。 (3)健康の保持増進のための実践力を育成する。 (4)体力の向上を図り、楽しく明るく豊かな生活を営む態度を養う。					
②学習の進め方					
じぶんみらい科の体育は、「良い記録を出す」ことや「高度な技術を身に付けること」ではなく、『自らの健康の保持増進』のための運動を中心に行います。運動の得意・不得意に関わらず自らの健康の為に自分のペースで運動に親しむ姿勢を持って、授業に参加して下さい。ライブ授業・スクーリングなど『参加すること』、『できる・できない』は関係なくチャレンジする姿勢を持って授業に臨みましょう。授業を受けたらレポートに取り組み、メディア視聴をこまめに行い視聴報告書を提出する習慣を身に付け、余裕を持って学習に取り組むことができるようにしましょう。					
③メディア学習の活用指針					
体育授業の土台になるのは「ライブ授業」です。基本的な生活習慣の確立の為に時間通りに参加することを心がけましょう。(アーカイブで確認することもできます。)スクーリング授業では、仲間とともに運動に親しむ姿勢を身に付けることを目的に実施します。併せて、NHK高校講座、教科書インターネット授業の動画も活用し、自分に合った学習方法を見つけて下さい。体育Ⅱは視聴時間が7.2時間必要となっているので、メディア視聴を積極的に行い、視聴報告書の提出を早めに行うように心がけましょう。ライブ授業とじぶんみらいビデオだけでは最低視聴時間に到達しませんので必ずメディア視聴が必要になります。間違いのないように注意して下さい。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	・自己の身体づくりについての基本的な知識を身に付けているか。 ・自分自身の運動習慣を振り返り、課題や改善点を見つけていることができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	・屋内ではなく、屋外に出て運動を行おうとする姿勢とそれに伴い必要な安全について自ら学ぼうとしているか。 ・自分が行おうとする運動の効果について適切に表現できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・自分の身体を大切に扱い、健康に留意して生活を送ろうとする積極的な姿勢が身に付いているか。 ・レポート、視聴報告などが期限までに提出でき、かつ内容が充実しているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	単元②「体育理論Ⅲ」 人間の身体の仕組みの不思議 ～自分の身体の仕組みを知ろう～
レポート	人間の身体の仕組みの不思議

第2クール

じぶみらライブ授業	単元③「野外活動Ⅰ」 自然の中で運動を行うと、心身にどんな効果がある？ ～山や高原編～
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	単元④「野外活動Ⅱ」海や川で安全に身体を動かし、楽しむ方法について ～水の安全と水と親しむ編～
レポート	「野外活動Ⅰ」 ※ライブ授業の中で、レポート作成の方法について解説します。

第4クール

じぶみらライブ授業	単元⑥「陸上競技Ⅱ」 速歩のススメ！！ 1日1万歩は古い？1日20分の速歩で健康になろう！！
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	単元⑦「安全講習」 夜間に行動する際の注意事項について ～安全に生活するための基本的な知識や注意事項を身に付けよう～
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	単元⑧「体育理論Ⅳ」 人間の心の仕組みの不思議 ～自分の心の仕組みを知ろう～ ※単位認定テストの対策を兼ねています。
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	単元①「器械運動Ⅱ」 筋力トレーニングの基礎知識と実践方法
スクーリング	球技(バスケットまたは卓球) ※使用できる施設によって、内容が変更になる場合があります。

後期

じぶみらビデオ	単元⑤「器械運動Ⅲ」 ヨガの要素を取り入れた運動の基礎知識と実践方法
スクーリング	レクリエーションスポーツ・球技・陸上競技 ※使用できる施設によって、内容が変更になる場合があります。

1. 基本情報					
保健Ⅱ		普通	必修	単位数	1
担当教員	高木	レポート回数	3	スクーリング時数	1
教材			副教材		
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
(1)自分自身の将来を見据え、ライフステージに応じた健康を意識することができるようになること。 (2)自分や自分の大切な人の健康を守る上で必要になる応急手当、いざという時の心肺蘇生法について基礎知識を身に付けること。 (3)職業観を持つことや、生涯を通じた心身の健康に関心を持つことができるようになること。					
②学習の進め方					
保健は答えが決まっていることを学ぶ教科ではありません。「健康」をキーワードにして様々な視点から現代社会の課題を知り、解決方法を考える教科です。 日常生活の中で「当たり前」と思っていることを問い直す姿勢を持って授業に臨みましょう。まずは自分の心身を大切にすることを学び、自分に周囲の人、自分の住む地域、世界の様々な健康上の課題について学ぶことで10年後いきいきと社会で活躍できる土台を作ります。授業を受けたらレポートに取り組む習慣を身に付け、単位認定テスト対策プリントを活用して早めに準備を行うことを心がけましょう。					
③メディア学習の活用指針					
保健授業の土台になるのは「ライブ授業」です。基本的な生活習慣の確立のためにも時間通りに参加することを心がけましょう（アーカイブで確認することもできます）。保健は、スクーリング減免に必要なメディア視聴時間の設定がありません。NHK高校講座や教科書インターネット講座の動画教材は、自分に合った学習形式、様々な単元の学習などに活用して下さい。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	・日本における健康上の制度や仕組みについて理解できているか。 ・現代社会における健康上の課題を把握できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	・健康上の課題を自分ごととして捉えることができているか。 ・自分自身の健康を維持するために、社会はどのような仕組みになっていて、どのような改善が必要か考えることができているか			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・将来的な健康の保持増進のために、自分自身が行うべき行動と社会全体で考えていくべき問題について、積極的に解決策を探そうとする姿勢を持つことができているか			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数（上記）参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること（合格点は40点以上）				
単位認定試験	受験し、合格すること（合格点は30点以上）				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	単元②「心肺蘇生法・日常的な応急手当」
レポート	「心肺蘇生法・日常的な応急手当」

第2クール

じぶみらライブ授業	単元③「結婚生活と健康」
レポート	「結婚生活と健康」

第3クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	単元⑤「働くことと健康」
レポート	「働くことと健康」

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	単元①「食事と健康」
スクーリング	なし

後期

じぶみらビデオ	単元④「思春期と健康」
スクーリング	「誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり」

1. 基本情報						
美術Ⅱ		普通	選択	単位数	2	前提科目 美術Ⅰ
担当教員	香西	レポート回数	6	スクーリング時数	4	最低視聴時間 6.0
教材			高校生の美術2		副教材	
材料費・実習費用等について					なし	
2. 科目の概要						
①科目のねらい						
美術という言葉には「美しくする術」という意味がありますが、授業の目的は見た目の美しさだけではありません。身の回りのものごとをよく観察し、他者の感じ方を思い描く「想像力」と、新しい価値や見方を生み出す「創造力」を育てることを大切にしています。また、一人ひとりの発想や感じ方の違いを尊重し、周りと違う表現も歓迎します。美術は創造科目や探究科目とも関係が深く、さまざまな学びで生まれた考えや思いを形や色で伝える役割も担っています。この授業では、上手・下手にとらわれず、自分らしい表現の方法を増やしていく時間になっていきます。ぜひ楽しみながら参加してください。						
②学習の進め方						
美術Ⅰの発展版の美術Ⅱも方針は変わらず、上手下手を気にせず自己表現の引き出しを増やせる内容を目指しています。ライブやスクーリングでは、まず身近な事例や作品を用いた「問い」や「鑑賞」から学習を始めます。感じたことや気付いたことを共有しながら、テーマへの理解を深め、その後、簡単な実験的制作やワークに取り組みます。制作過程では、完成度よりも発想のプロセスや工夫を重視します。必要に応じてリサーチや記録、短いレポート作成を行い、自分の考えを整理・言語化します。対話、鑑賞、制作、振り返りを繰り返しながら、段階的に学びを深めていきましょう。						
③メディア学習の活用指針						
ライブ授業後に関連動画(じぶみらビデオ)を各自で視聴・閲覧し、気になった点を次の授業やレポートに生かしてください。 ※美術ⅡはNHK高校講座・教科書インターネット授業の動画がありません。じぶみらライブ 6時間+じぶみらビデオを積極的に視聴して6時間を満たすようにしましょう。						
3. 評価の観点						
	評価の観点			評価の方法		
知識・技能	・美術に関する基本的な用語や考え方(素材・技法など)を理解し、制作や鑑賞に生かしているか。 ・素材や道具の特性を理解し、適切に扱うことができるか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。		
思考・判断・表現	・題材や課題に対して、自分なりの視点や発想をもち、工夫して表現しようとしているか。 ・作品や事例を鑑賞し、感じたことや考えたことを、言葉や簡単な図・スケッチなどで適切に表現できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。		
主体的に学習に取り組む態度	・上手い下手にとらわれず、試行錯誤しながら課題に向き合い、学習に継続して取り組んでいるか。 ・レポートや課題を期限内に提出し、振り返りを通して自分の学びを深めようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。		
4. 単位認定要件						
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。					
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること					
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)					
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)					

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	① 芸術概要1
レポート	① さまざまな表現1

第2クール

じぶみらライブ授業	② 芸術概要2
レポート	② さまざまな表現2

第3クール

じぶみらライブ授業	③ 基礎表現1
レポート	③ さまざまな表現3

第4クール

じぶみらライブ授業	④ 基礎表現2
レポート	④ さまざまな表現4

第5クール

じぶみらライブ授業	⑤ 応用表現1
レポート	⑤ さまざまな表現5

第6クール

じぶみらライブ授業	⑥ 応用表現2
レポート	⑥ さまざまな表現6

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	色や形など、ものの見方を手がかりに、日常の中にあるアートの種を探します。
スクーリング	みんなで話し合ったり、お互いの作品を見合ったり、直接会っているからこそ取り組める内容にしています。安心な環境をお互いに作りましょう。

後期

じぶみらビデオ	視点を変えてみる楽しさを通して、自分なりの世界の感じ方を広げます。
スクーリング	みんなで話し合ったり、お互いの作品を見合ったり、直接会っているからこそ取り組める内容にしています。前期の内容を発展させた課題にチャレンジしてみよう。

1. 基本情報					
英語コミュニケーションⅡ	普通	選択	単位数	4	前提科目 英コミュⅠ
担当教員 馬場	レポート回数	12	スクーリング時数	7	最低視聴時間 13.5
教材 All Aboard! English Communication Ⅱ	副教材 English Communication Ⅱ WORKBOOK				
材料費・実習費用等について			なし		

2. 科目の概要	
①科目のねらい ターゲットとなる英語表現を理解し、表現することに挑戦する。 【聞く・読む】 話し手や書き手の意図や主張の根拠を、論理の展開に沿って的確に捉えるとともに、事実と意見を区別して情報の要点を把握する。 【話す・書く】 習得した語彙や文法を適切に用い、得た情報に自分なりの視点や根拠を加えて、論理的かつ発展的な表現ができる。	
②学習の進め方 ○予習…東京書籍教科書授業インターネット講座で①教科書本文の意味 ②新出単語 ③ターゲット文法を確認しましょう。 ○実践…①じぶみらライブに参加しましょう。単元に関連した内容のインプット&アウトプットの場合です。 ②レポートに取り組みましょう。じぶみらビデオやじぶみらライブの内容も参考にしましょう。 ③NHK高校講座を視聴してターゲット文法の定着を図りましょう。 ※①～③の順番は前後しても構いません。自分の進めやすい順番を見つけましょう。 ○復習…副教材のワークブックに取り組んだり、上記の教材を見直したりしましょう。	
③メディア学習の活用指針 ※じぶみらライブに全て参加(またはアーカイブ視聴)+じぶみらビデオ視聴で最低視聴時間をクリアできます。 ・じぶみらライブ…軸となる授業です。単元に関連した内容のインプット・アウトプットを行います。 ・じぶみらビデオ…レポートに取り組む際にはこのビデオを参考にしながら解きましょう。 ・NHK高校講座…各クールで扱う文法の解説はこちらを参考にしましょう。Google ClassroomにどのLessonを視聴したらよいか記載しています。 ・東京書籍 教科書授業インターネット講座…教科書の音読・解説をしてくれます。まずはこちらで教科書の内容を確認するか、教科書を自分で音読・和訳してからレポートやライブに取り組むことを推奨します。	

3. 評価の観点		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	- 基本的な文法や単語を理解し、活用することができるか - 教科書本文の内容理解ができているか	レポート・中間課題・単位認定試験の得点より評価する。
思考・判断・表現	習得した技能を多面的に応用して使うことができ、自らの経験や思考を元に考え、表現することができるか	レポート・中間課題・単位認定試験の得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	- 学んだことを自身の経験や考えと関連づけて自分の言葉で具体的に表現できているか - 高い学習意欲と探究心が明確にうかがえるか	レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。

4. 単位認定要件	
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	① Communication Activities ② Lecture: 関係代名詞／比較表現
レポート	① L1 関係代名詞 (what) ② L2 比較表現

第2クール

じぶみらライブ授業	③ Communication Activities ④ Lecture: itの用法／間接疑問文
レポート	③ L3 itの用法 ④ L4 間接疑問文

第3クール

じぶみらライブ授業	⑤ Communication Activities ⑥ Lecture: to不定詞を含む表現／動詞の目的語になるif節
レポート	⑤ L5 to不定詞を含む表現 ⑥ L6 動詞の目的語になるif節

第4クール

じぶみらライブ授業	⑦ Communication Activities ⑧ Lecture: 関係副詞／知覚動詞
レポート	⑦ L7 関係副詞 ⑧ L8 知覚動詞

第5クール

じぶみらライブ授業	⑨ Communication Activities ⑩ Lecture: 使役動詞: 知覚動詞
レポート	⑨ L9 使役動詞 ⑩ L10 分詞構文

第6クール

じぶみらライブ授業	⑪ Communication Activities ⑫ Summary
レポート	⑪ Summary1 ⑫ Summary2

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	英語を通して世界を見てみよう
スクーリング	Communication Activities・アートで世界をつなぐ

後期

じぶみらビデオ	英語を通して自分を見てみよう
スクーリング	Expressions・甘いチョコレート之苦い現実

1. 基本情報					
論理・表現 I		普通	選択	単位数	2
前提科目		-			
担当教員	馬場	レポート回数	6	スクーリング時数	4
最低視聴時間		6.0			
教材			副教材		
New Favorite I English Logic and Expression			English Grammar I		
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
・これまでに学んできた英語の知識を整理し、論理展開の方法や、場面に応じた適切な表現の仕方を学ぶ。					
・多くの英語表現を吸収し、筋道立てて伝える技能を磨くことで、自らの考えを言葉にし続ける実践力を養う。					
②学習の進め方					
○予習...東京書籍教科書授業インターネット講座で①教科書本文の意味 ②新出単語 ③ターゲット文法を確認しましょう。					
○実践...①じぶみらライブに参加しましょう。単元に関連した内容のインプット&アウトプットの場合です。					
②レポートに取り組みましょう。じぶみらビデオやじぶみらライブの内容も参考にしましょう。					
③NHK高校講座を視聴してターゲット文法の定着を図りましょう。					
※①～③の順番は前後しても構いません。自分の進めやすい順番を見つけてみましょう。					
○復習...副教材のワークブックに取り組んだり、上記の教材を見直したりしましょう。					
③メディア学習の活用指針					
※じぶみらライブに全て参加(またはアーカイブ視聴)+じぶみらビデオ視聴で最低視聴時間をクリアできます。					
・じぶみらライブ...軸となる授業です。単元に関連した内容のインプット・アウトプットを行います。					
・じぶみらビデオ...レポートを取り組む際にはこのビデオを参考にして解きましょう。					
・NHK高校講座...各クールで扱う文法の解説はこちらを参考にしましょう。Google ClassroomにどのLessonを視聴したらよいか記載しています。					
・東京書籍 教科書授業インターネット講座...教科書の音読・解説をしてくれます。まずはこちらで教科書の内容を確認するか、教科書を自分で音読・和訳してからレポートやライブに取り組むことを推奨します。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	・文法事項や基本表現を理解し、正確に使うことができるか ・意見や説明を組み立てる際に、適切な語彙や接続表現を用いることができるか			レポート・中間課題・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	・自分の意見を明確に述べ、理由や具体例を挙げて説明できるか ・主張と理由のつながりが論理的であるか ・目的や相手に応じた表現を工夫しているか			レポート・中間課題・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・学んだことを自身の経験や考えと関連づけて自分の言葉で具体的に表現できているか ・高い学習意欲と探究心が明確にうかがえるか			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	人物紹介
レポート	初めての食事／道に迷う／人物紹介

第2クール

じぶみらライブ授業	行ってみたい場所
レポート	体調が悪い／買い物／行ってみたい場所／イベントに誘われる

第3クール

じぶみらライブ授業	スクールカウンセラーに相談／お気に入りを紹介
レポート	スクールカウンセラーに相談／お気に入りを紹介／待ち合わせに遅刻／家庭でのディスカッション／英字新聞に投稿

第4クール

じぶみらライブ授業	クラスでディベート
レポート	クラスでディベート①／クラスでディベート②

第5クール

じぶみらライブ授業	経験談のスピーチ
レポート	経験談のスピーチ／遊びやスポーツを紹介／日本をPR

第6クール

じぶみらライブ授業	物事の両面を伝える
レポート	物事の両面を伝える／読み手を納得させる／読み手を説得する

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	行ってみたい場所／お気に入りを紹介
スクーリング	行ってみたい場所／お気に入りを紹介

後期

じぶみらビデオ	ディベート／物事の両面を伝える
スクーリング	ディベート／物事の両面を伝える

1. 基本情報					
創造基礎Ⅲ		学校設定	必修	単位数	2
担当教員	香西	レポート回数	2	スクーリング時数	2
前提科目		-			
教材			副教材		
-			-		
材料費・実習費用等について					
2. 科目の概要					
①科目のねらい (1)身の回りや社会課題に目を向け、問いを立て、解決に向けて考えるための思考方法を身に付ける。 (2)大学の「マンデイプロジェクト」を編集した実践的な課題に取り組み、創造的に考える経験を重ねる。 (3)「デザイン思考」とも呼ばれる考え方を学び、誰もが身に付けることのできる思考の型として理解する。 (4)頭だけでなく体や心も使いながら試行錯誤する姿勢を養い、自分なりの考えを形にする力を育てる。					
②学習の進め方 すべてのビデオとレポートが連動しています。ビデオを見ながらレポートに取り組みましょう。 この科目では観察、対話、振り返りといったプロセスを繰り返しながら、課題解決に向けた思考方法を体験的に学びます。アーティストやデザイナーの視点を参考にしつつ、個人やグループでの活動を行い、考えたことや気付いたことを共有します。「知る」「探る」「考える」「つくる」「届ける」の5つを軸に、記録や簡単なレポートを通した考え方の変化やプロセスそのものを大切にします。					
③メディア学習の活用指針 創造科目にはライブ授業が基本的にありませんが、じぶみらビデオを見ながらレポートと作品を提出することで、スクーリングの際に講評が受けられます。 ※創造科目にはNHK高校講座・教科書インターネット授業の動画はありません。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	・課題解決に向けた基本的な思考の流れ(課題発見、発想、振り返りなど)を理解し、活動の中で活用しているか。 ・観察や対話、記録などを通じて、情報や気付きを適切に整理することができているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	・課題に対して自分なりの視点をもち、柔軟に考えながら解決策を検討しているか。 ・考えた過程や試行錯誤の内容を、文章、図、イラストなどで分かりやすく表現できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・正解のない課題に対しても粘り強く取り組み、失敗や行き詰まりを学びに生かそうとしているか。 ・学習に継続して参加し、振り返りを通して自分の考え方を深めようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	見立てⅠ
レポート	見立てⅠ

第2クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	見立てⅡ
レポート	見立てⅡ

第4クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	見立て
スクーリング	見立て

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報					
創造基礎Ⅳ		学校設定	必修	単位数	2
担当教員	香西	レポート回数	2	スクーリング時数	2
教材			副教材		
材料費・実習費用等について					
2. 科目の概要					
①科目のねらい (1)身の回りや社会課題に目を向け、問いを立て、解決に向けて考えるための思考方法を身に付ける。 (2)大学の「マンデイプロジェクト」を編集した実践的な課題に取り組み、創造的に考える経験を重ねる。 (3)「デザイン思考」とも呼ばれる考え方を学び、誰もが身に付けることのできる思考の型として理解する。 (4)頭だけでなく体や心も使いながら試行錯誤する姿勢を養い、自分なりの考えを形にする力を育てる。					
②学習の進め方 すべてのビデオとレポートが連動しています。ビデオを見ながらレポートに取り組みましょう。 この科目では観察、対話、振り返りといったプロセスを繰り返しながら、課題解決に向けた思考方法を体験的に学びます。アーティストやデザイナーの視点を参考にしつつ、個人やグループでの活動を行い、考えたことや気付いたことを共有します。「知る」「探る」「考える」「つくる」「届ける」の5つを軸に、記録や簡単なレポートを通した考え方の変化やプロセスそのものを大切にします。					
③メディア学習の活用指針 創造科目にはライブ授業が基本的にありませんが、じぶみらビデオを見ながらレポートと作品を提出することで、スクーリングの際に講評が受けられます。 ※創造科目にはNHK高校講座・教科書インターネット授業の動画はありません。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	・課題解決に向けた基本的な思考の流れ(課題発見、発想、振り返りなど)を理解し、活動の中で活用しているか。 ・観察や対話、記録などを通じて、情報や気付きを適切に整理することができているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	・課題に対して自分なりの視点をもち、柔軟に考えながら解決策を検討しているか。 ・考えた過程や試行錯誤の内容を、文章、図、イラストなどで分かりやすく表現できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・正解のない課題に対しても粘り強く取り組み、失敗や行き詰まりを学びに生かそうとしているか。 ・学習に継続して参加し、振り返りを通して自分の考え方を深めようとしているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				
5. じぶみらライブ授業・レポート					
第1クール					

じぶみらライブ授業	
レポート	
第2クール	
じぶみらライブ授業	
レポート	
第3クール	
じぶみらライブ授業	
レポート	
第4クール	
じぶみらライブ授業	仕立てⅠ
レポート	仕立てⅠ
第5クール	
じぶみらライブ授業	
レポート	
第6クール	
じぶみらライブ授業	仕立てⅡ
レポート	仕立てⅡ
6. じぶみらビデオ・スクーリング	
前期	
じぶみらビデオ	
スクーリング	
後期	
じぶみらビデオ	仕立てⅠ・Ⅱ
スクーリング	仕立て

1. 基本情報					
総合的な探究の時間Ⅱ		総合	必修	単位数	1
担当教員		川勝	レポート回数	2	スクーリング時数
				2	最低視聴時間
教材		-		副教材	-
材料費・実習費用等について				なし	
2. 科目の概要					
①科目のねらい					
みなさんが10年後や、その先も社会にいきいきと参画できるように、自分の視点で発見した課題の解決方法を、周囲と協働して創造していく姿勢を身に付けることをねらいとしています。「社会を変えられるかもしれない」実感を持てること、つまりみなさんの日常生活と地続きの学びを得ることを目指します。2年次では、クラスメイトと協働して学ぶ中で得た気づきを、探究的なプロセスを通して表現することに挑戦します。					
②学習の進め方					
じぶみらビデオの1と2は、レポートやライブ、スクーリングの内容と連携していますので、先にビデオを視聴しましょう。大切なことは、授業内での学びと、日常生活での気づきや普段感じていることを結びつけていくことです。授業の時間だけでなく、日常・世界が学びの場です。					
③メディア学習の活用指針					
じぶみらビデオでは、じぶんみらい科での探究活動で大切にしている考え方や視点を伝えます。じぶみらライブでは、クラスメイトの考え方や視点を知ること、自分のことを知ることにもなるというプロセスを経験し、自己理解と他者理解を深めます。※メディア視聴の必要はない科目ですが、理解を深めるためにビデオとライブを視聴することを推奨します。					
3. 評価の観点					
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	デザイン思考や多角的な視点などを用い、探究的なプロセスを理解し、実践できているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
思考・判断・表現	他者理解や自己理解、他者との協働のプロセスを経て学んだ事柄を自分なりの視点や経験と結び付けて物事を考え、表現することができているか。			レポート・単位認定試験の得点より評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	メディア視聴参加感想文や授業の成果物において、学んだことを自身の経験や考えと関連づけて問いを立てたり考察したりし、その内容を具体的に表現できているか。			レポート、視聴報告、授業の成果物等の内容より評価する。	
4. 単位認定要件					
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。				
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること				
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)				
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)				

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第2クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報				
学校外学修 I	学校外	選択	単位数 1	前提科目 -
担当教員 馬場	レポート回数		スクーリング時数	最低視聴時間
教材			副教材	
材料費・実習費用等について			なし	
2. 科目の概要				
①科目のねらい 藝術学舎や放送大学で開講する講義を受講し、単位を認定する科目です。 藝術学舎では、芸術／デザインの洗練をもって、自己と環境のありかたの新しい形を構想する能力を身につけることが目標です。放送大学では、芸術に限らず幅広い分野の学びを通して自身の知識や見聞を拡げ、未来につなげることを目標とします。藝術学舎と放送大学の所定の講座を受講し、合格したものを本科目として単位認定します。また、藝術学舎で修得した単位は京都芸術大学通信教育課程へ、進学した場合に、また、放送大学で修得した単位は放送大学に進学した場合に進学先で単位が引き継がれます。				
②学習の進め方 各自でシラバスや講座案内に沿って学習を進めていく必要があります。 オンラインのスクーリング日程や課題提出の有無、教材、評価の方法などは藝術学舎や放送大学のシラバスや講座案内を参照してください。				
③メディア学習の活用指針 該当科目のシラバスや講座案内を参照してください。				
3. 評価の観点				
	評価の観点		評価の方法	
知識・技能				
思考・判断・表現				
主体的に学習に取り組む態度				
4. 単位認定要件				
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。			
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること			
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)			
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)			

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第2クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

1. 基本情報						
学校外学修Ⅱ	学校外	選択	単位数	1	前提科目	-
担当教員	馬場	レポート回数	スクーリング時数		最低視聴時間	
教材			副教材			
材料費・実習費用等について			なし			
2. 科目の概要						
①科目のねらい 芸術学舎や放送大学で開講する講義を受講し、単位を認定する科目です。 芸術学舎では、芸術／デザインの洗練をもって、自己と環境のありかたの新しい形を構想する能力を身につけることが目標です。放送大学では、芸術に限らず幅広い分野の学びを通して自身の知識や見聞を拡げ、未来につなげることを目標とします。芸術学舎と放送大学の所定の講座を受講し、合格したものを本科目として単位認定します。また、芸術学舎で修得した単位は京都芸術大学通信教育課程放送大学へ進学した場合に、放送大学で修得した単位は放送大学に進学した場合には進学先で単位が引き継がれます。						
②学習の進め方 対面／オンラインのスクーリングや課題提出の有無、教材などは該当科目のシラバスや講座案内を参照してください。 自身で出願及び履修登録を行い、シラバスに沿って学習を進めていく必要があります。						
③メディア学習の活用指針 該当科目のシラバスや講座案内を参照してください。						
3. 評価の観点						
	評価の観点		評価の方法			
知識・技能						
思考・判断・表現						
主体的に学習に取り組む態度						
4. 単位認定要件						
視聴報告	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。					
集中スクーリング	すべての時数(上記)参加すること					
レポート	すべて提出し、すべて合格すること(合格点は40点以上)					
単位認定試験	受験し、合格すること(合格点は30点以上)					

5. じぶみらライブ授業・レポート

第1クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第2クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第3クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第4クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第5クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

第6クール

じぶみらライブ授業	
レポート	

6. じぶみらビデオ・スクーリング

前期

じぶみらビデオ	
スクーリング	

後期

じぶみらビデオ	
スクーリング	